

将来に繋ぐ

第1学年主任 廣本 浩太

2月13日、声楽家・酒井雄一さんを講師にお迎えし、「生き方講演会」を実施しました。音楽への情熱を原動力に、努力を積み重ねてこられた歩みに、生徒自身の可能性を見つめ直す貴重な機会となりました。進学や就職といった将来の進路を考えるうえで、「自分の価値観」や「自分は何をしたいのか」を大切にして挑戦し続ける姿勢が自らの道を開いていくことに繋がると学びました。この学びは、2年生で取り組む「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」への橋渡しとなります。今後、職業セミナーも予定しており、多様な生き方に触れながら、自分の生き方や将来について主体的に考え、見通しをもって行動できる力をさらに育んでいきます。



プロの歌声を聴いています

最上級生に向けた助走

第2学年主任 中島 一

委員会等の生徒会活動が2年生に受け継がれ、部長会では応援歌の練習が2年生を中心にして行われています。先日の前期生徒会役員選挙では、多くの生徒が立候補し、学校の中心として新たな歴史を創り上げようと、よりよい出町中学校にするためのビジョンについて熱弁をふるいました。このように、2学年では様々な場面で、自ら学校全体に貢献しようとする姿が多く見られます。



修学旅行実行委員が事前学習を運営しています

また、5月に予定している修学旅行に向けて、実行委員が始動し、諸活動が充実したものになるよう準備を進めています。事前学習の内容やテーマ、ルール等について、実行委員同士で何度も話し合いを重ね、学級で出た意見を踏まえて意思決定する姿勢から、自分たちの手で修学旅行を成功させたいという強い思いを感じます。

様々なことに勇気をもって挑戦し、たくましく粘り強く進む姿を、これからも応援していきたいと思います。

出中生としての集大成

第3学年主任 辻 泰裕

3年生にとって最後となった生徒総会では、卒業を前にして自分たちの思いを後輩に伝えようとする場面が多くありました。「時間を守る意味を考えよう」という議題のもと、3年間の経験を生かして後輩に具体的に説明したり、3年生として、この先の受験や将来を見据えて今を大切にすることの大切さを後輩に訴えかけたりする様子も見られました。

現在は、卒業式の式歌である「正解」の歌詞に込められた思いを考えたり、どのような卒業式にしたいかや義務教育を修了することの意義について学年議会を中心に意見を出し合ったりしています。学年での全体練習会では、これまでのグループ練習で指揮や伴奏を務めてきた仲間が自然と全体をまとめるなど、主体的に取り組む姿が見られ、成長を感じました。

あと少しで卒業です。出中生としての集大成を発揮できるよう、今できることに最後まで挑戦し続けてほしいと思います。



卒業式の式歌練習に励んでいます